

あっぷる通信

経営指針
利用者の目
線に立った、
感動を呼ぶサ
ービスの提供



地域貢献としての市民講座 「第八回アップルの集い」開催

「介護の日」の十一月十一日(日)に毎年地域貢献の一環として取り組んでいる恒例の市民講座「第八回アップルの集い」を開催しました。

天候はいにくの雨でしたが、多数の方にご参加いただき盛況のうちにも幕を閉じました。

先ず「家庭にあるものでできる簡単介護方法」という内容で小規模多機能型居宅介護の竹田ワーカーが実演も含めて発表しました。

「第八回アップルの集い」開催

続いて「老健を利用して在宅復帰を」というテーマで片田施設ケアマネジャーが、「安心して在宅生活を続けていくために」というテーマで三好、林、山本の3名の在宅ケアマネジャーが発表しました。

当施設も設立十五周年を向かえ、これまでの経験を伝えることで在宅生活に継続していただく一助になればと、今回は事例中心に発表を行いました。

顔の見える関係を築く

今回の研修を終えて参加者から「アップルさんがどんな役割の施設なのか理解できました」との声が多く聞かれました。普段から地域の皆様がアップルのことを知り、アップルも地域のことを知る、お互いが顔の見える関係を築きあげることこそが

迅速な対応、ひいては末長い在宅生活につながるものと信じ、これからも地域に開かれた施設を目指したいと思えます。

在宅ケア支援事業部
統括部長 山田

兵庫県老健協会より 「視察・研修」に來所

奈良県の二つ施設へ

平成二四年八月三〇日(木)兵庫県介護老人保健施設協会主催の「平成二四年県外老健施設視察・研修」の一環で、兵庫県老健施設に勤務する職員約四〇名が当施設に來所されました。

刺激になった視察の受入

今回の視察・研修は奈良県老健協会に依頼があり、「鴻池荘」の施設が受け入れることになったものです。

参加者からの感想

「在宅復帰への取り組みとして法人全体の取り組みが、とても感心しました。在宅支援体制が大変整っており、スタッフの意識も高いこと



研修のようす (8/30)

コラム 介護の風

「明日もがんばろう」

私たちは今、日々介護という職場で汗をかき一生懸命に働いています。

仕事を終えても利用者さんのことが頭から離れず四六時中利用者さんのことを考え続けています。

休むことなく利用者さんの幸せを願い、懸命に働くことで自分以外の利用者さんが幸せになり、豊かになれるのです。

つまり私たちは日々利用者さんに幸せを運んでいるのです。

幸せを運ぶことが出来るという職業に私たちは誇りを持ってこれながらもがんばり続けましょう。



私たちの働きにより、自分以外の人が豊かになり、幸せになることは私たちが一生懸命働いている証拠なのです。

今日と同じく明日も自分以外の利用者さんが幸せになっただけのよう、がんばりましょう!

(顧問 西藤清紀)

施設入所
秋の野外活動

大淵池公園へ

平成二四年十月二日(日)施設入所のご利用者さま約七十名が、恒例となつている「秋の野外活動」として大淵池公園に出かけました。当日、日差しが強いくらいの晴天でしたが、暑くもなくちようどよい外出日和となりました。

大淵池公園では、理学療法士の指導による集団ストレッチ体操、職員によるサックス演奏や歌のレクリエーションが行われました。

そして、楽しみにしていたお弁当を食べ、気持ちの良い外出となりました。

参加されたご利用者さまから「外は気持ちよかったです」「外出できてよかったです」と、喜びの声を頂きました。



大淵池公園にて、職員自慢のサックス演奏を聞くご利用者さま。

通所リハビリテーション

秋の遠足

中田農園みかん狩りへ

平成二四年十月十四日(日)通所リハビリテーションのご利用者さま二四名が、「秋の遠足」として桜井市の中田農園にみかん狩りに出かけました。

グループに分かれ、みかん狩りを楽しみ、そのあとお弁当と職員手作りの豚汁を頂きました。「温かい豚汁は大変美味しかったです」と、好評でした。



参加者全員の記念撮影。(花もきれいで、風も気持ちよかったです)

施設トピックス
感染予防勉強会実施

平成二四年十月二三日に杏林製薬さんを講師に「感染予防勉強会」を実施。改めて感染予防の大切さと方法を学びました。



施設トピックス

中学二年生が職場体験

平成二四年十一月六日～八日まで登美ヶ丘北中学校生徒二名が、十一月四日～一六日まで二名中学校生徒三名が当施設に職場体験に来ました。

職場体験では、ご利用者さまとのコミュニケーションや食事、お茶の配膳下膳、レクリエーションのお手伝いなど簡単な作業を体験。



法人トピックス

あったか介護賞受賞
ほのぼのサロン

平成二四年十一月十一日、なら一〇〇年会館で「奈良介護の日」イベントが開催され、アップルで活動するボランティア「ほのぼのサロンアップル」が、『あったか介護賞』を受賞しました。このサロンは地域の高齢者が集まる場として、ボランティアを中心に運営しています。



ご報告とお知らせ

【ご報告】

◎アツプル夏祭り開催
平成二四年八月二六日にアツプル夏祭りを開催。盆踊り、職員出し物のほか、奈良楽つ鼓の会の皆さんによる和太鼓演奏もあり大いに盛り上がりしました。



中途採用者研修、及び
新入職員フォロー研修実施

平成二四年九月二四日に「中途採用者研修」を、十月二二日に「新入職員フォロー研修」を実施。

◎勉強会実施

平成二四年八月二一日に「未来記憶：イメージする力が結果を呼び込む」と言うテーマで北神理事長が講師となり勉強会を実施。



【お知らせ】

- ◎入所行事
十二月 クリスマス会
餅つき
- ◎通所行事
十二月 感謝祭(餅つき)
- 一月 新年を楽しむ会
- ◎小規模多機能行事
十二月 クリスマス会
一月初詣



ユニバーサル・スタジオジャパンの大きな地球儀の前で。

パワーリハビリテーション 秋のハイキング ユニバーサル スタジオ・ジャパンへ

平成二十四年十一月四日(日)パワーリハビリテーションのご利用者さまと「秋のハイキング」として、USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)に行きました。

行き先を決めるにあたって チャレンジすることを選択!

行き先アンケートでは、以外にもUSJが多数に。関西で人気があり、行楽シーズンでさらに混雑する場所に行つて、安全か、楽しめるか、広い敷地内を歩けるかなど、様々な課題があがったが、USJにチャレンジすることを選択。

来てよかった!

朝八時にアップル学園前を出発。9時頃に到着。予想通り人々で大混雑。長時間立っていることができないご利用者さまには、アトラクションは難しいかと考えたが、そこはさすがUSJ、車椅子など

のお客さんへのサポートが行き届いており、長時間待つことなく、楽しむことができました。ご利用者さまからは、来てよかったと、喜んでいただきました。

USJの アトラクションに 「驚き」と「感動」

ご利用者さんからの感想より、「見るもの聞くものアトラクションのすべてが、規模が大きくて、特にウォータールドは、炎と水を使つて

今までには見たこともないもので、心に残る楽しい一日となりました」「とても楽しい一日でした。(中略)主人と旅行に行けるという希望が持てました。『自信と希望』を与えて下さったハイキングでした」「初めて色々としょいかアトラクションも見学できて楽しい一日でした。待ち時間も少なくスムーズに入れて、また職員の方々が親切に手をつないで下さり、安心して行くことができました」「若者が行く所と一人ひとりをサポートして下さり楽しく全員無事帰れたこと感謝致します」



ウォータールドの一場面

新連載 認知症と向き合う 看護師の視点から 第三回

「認知症の方への接し方」

認知症の症状に最初に気付くのは本人です。物忘れによる失敗や、今まで苦もなくやっていた家事や仕事があまくいかなくなる等々のことが徐々に多くなり、何となくおかしいと感じ始めます。特に認知症特有の言わなくても思いつけないもの忘れが重なるとうまくの人は何が起きているという不安を感じ始めます。

しかし、ここから先は人それぞれです。認知症を心配して抑うつになる人、そんな事は絶対にならないと思う自分が忘れていくのではなく周囲の人が自分を陥れようとしているのだと妄想的になる人など、認知症になったのではないかと不安な健康な人の想像を絶するものでしょう。認知症の人は何もわからないのではなく、誰よりも一番心配なのも苦しいのも悲しいのも本人です。認知症の本人には自覚がないというのは大きな間違いです。

認知症の方を介護するにあたり接し方の原則

① 常識的対応をしない
失敗行動に対する常識的な対応(叱り付けたり、説得したりすること)は、返って反発をま

ねく。失敗行動が起らないよう未然に防止する。行動の動機や背景を考え、それを満たす行動や欲求を抑え込まない。

② 事実認識の対応

否定しないこと。話題、場面を変えること。相手の世界に合わせる。

③ 自尊心を尊重する

認知症ケアで大切なことはありのままを受け入れる。そして認知症高齢者の見えない心の動きを察知して感じとるには、相手に合わせる。相手の訴えをそのまま繰り返してみる。(安心につながる。繰り返すことで会話がつながる。相手の立場にたつて、相手の見方、感じ方を理解する手がかりになる)

「人間杖」が必要

足の不自由な人は杖や車椅子などの道具を使って、自分の力で動こうとします。



駅にはエレベーターの設置などバリアフリー化が進み、乗り降りやしやすくなっています。また、手助けのいる時は援助を頼みます。認知症の人への援助には障害を理解し、さりげなく援助できる「人間杖」が必要です。温かく見守り適切な援助をしてくれる人がいれば、外出もでき、自分でやれること、心づいぶん増えることでしょう。(入所看護師 畑瀬立子)

新企画

職員自主活動の紹介 (カメラクラブ)

平成二四年十月十四日(日)アップルカメラクラブは、京都の金閣寺と龍安寺へ行ってきました。幸いなことにこの日は、日曜日にもかかわらず、修学旅行生及びバスの団体旅行者にも遭遇せず、ゆっくり観光と写真撮影が出来ました。

龍安寺は石庭が有名で一五個の石が配置されていますが庭の中央から一か所のみ一五個の石が見える場所があります。残念ながら、われわれのカメラは超広角レンズを持ち合わせず、そんな光景は撮影できませんでした。



龍安寺の石庭 (西藤撮影)

この石庭の一五個の石の謎という書籍が多くの方々により研究され出版されています。興味のある方は石庭を訪問され、勉強に勤しんでください。

(西藤清紀)

毎月カメラクラブを楽しみにしております。十月は金閣寺、龍安寺に行つて参りました。若い時に行つていたのですが、たまたまは今も変わらず、木々は大木になっていま

金閣寺では裏庭も散策出来ました。龍安寺では石庭や苔の庭、日本最古の侘助椿(わびすけつばき)など、腰をおろしてゆっくりと眺めてみると無心になり、環境との間に見事な調和を見せてくれ大自然を満喫した一日でした。

(杉田敏江)



龍安寺の苔の庭 (杉田撮影)

静かな時間とシンプルで無駄のない空間に魅了されました。個人から世界にまで思いをはせる事が出来る素敵な庭園でした。

(前野久美子)



龍安寺の石庭 (前野撮影)

当日はあいにくの曇り空でしたが、池にはつきりとその姿が映し出されるほど、とても輝いていたのが印象的でした。

(山崎久美)



金閣寺 (山崎撮影)

◎アップルだより秋号より (広報委員作成アップル壁新聞の抜粋です。)

「秋といえは...」
スポーツの秋

なぜスポーツの秋なのか? もちろん、夏の暑さも和らぎ、過ごしやすくなってきた時期だから、スポーツを始めやすいということもあります。

また、十月にある祭日の「体育の日」からきているという説もありますが、秋は冬の寒さに備えて、体内でエネルギーを燃やして体温を高めようと代謝がアップしている時期でもあります。体温を高めるための熱は、筋肉で主に産生します。体温を1℃高めると、身体

の免疫力は七〜八倍も上がると言われています。つまり、この時期に、しっかりと体を動かすことで、筋肉をつけ、冬に備えて体力をつけ、冬を乗り切る身体をつくることができます。そのために、「秋」にスポーツを始めるといふことから、「スポーツの秋」と言われているそうです。

「秋の味覚」

あすかぶどう園

明日香村の高松塚に程近い、自然いっぱいのおぶどう園、ぶどう狩りが楽しめるほか、オリジナルワインの試飲あり。
観光なし園 大前龍水園
世界遺産・吉野熊野地方の入り口、吉野郡大淀町にある観光なし園。

編・集・後・記

一面にも書いたが八月に兵庫県老健協会より兵庫県内の施設職員四十名を「視察・研修」として受け入れた。その時の感想で当施設の良

い面を数多く指摘して頂いた。そのような感想を読むことによつて改めて他施設に比べても引けを取らない良い取り組みをしているのだと気付かされる。なかなか当事者にはわからないものだ」と改めて感じた。子育てでも同じで親の有り難さは他人に言われたいとわからないと言われている。私も前の職場で子ども達に「いいお父さんやな」「いいお母さんやな」と何かあれば伝えるようにしていた。これからは良い施設になるように努力するとともに、自信を持って職員に良い面を伝えていきたい。

(平岡)